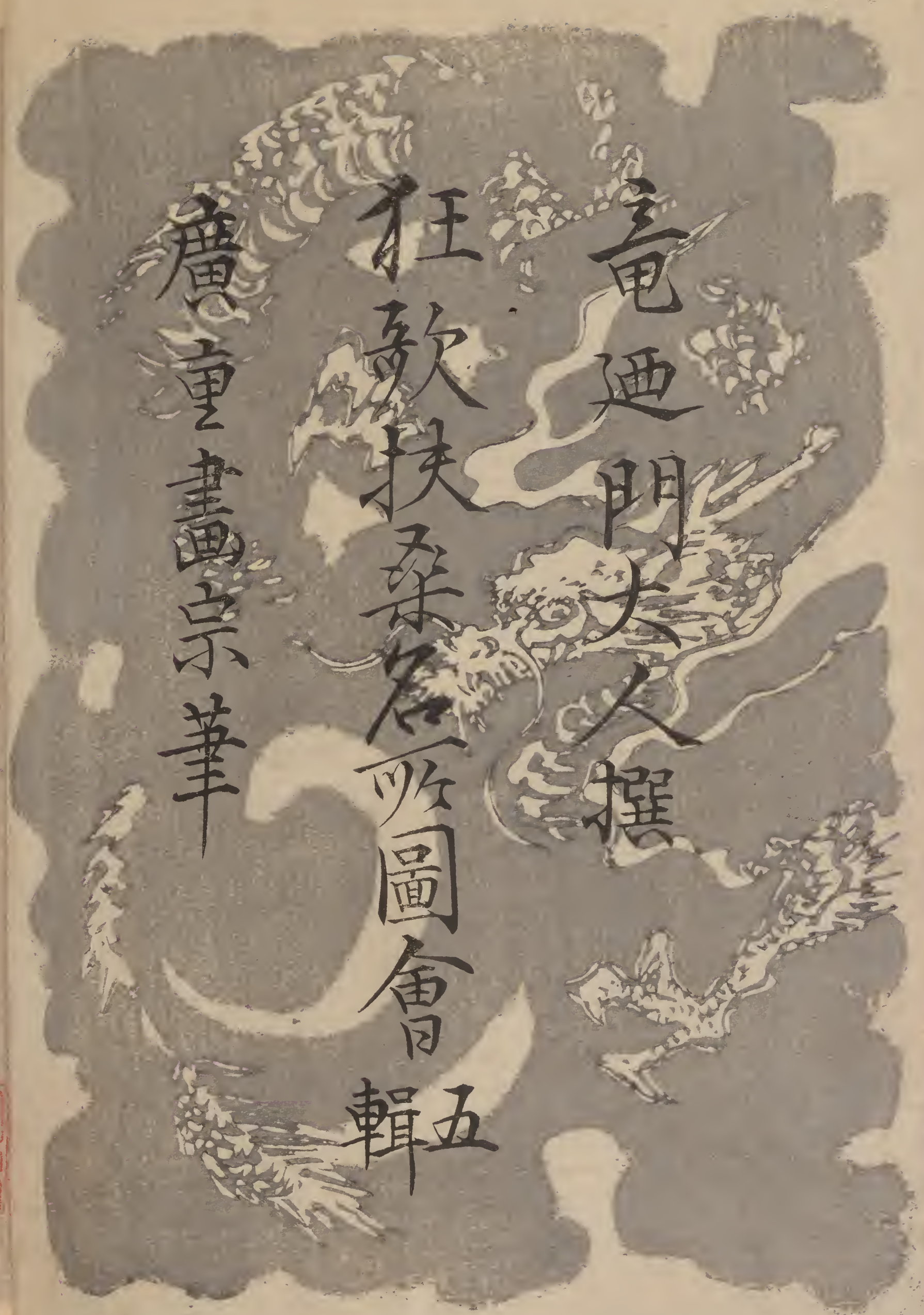


扶桑名所圖會

五
山
圖

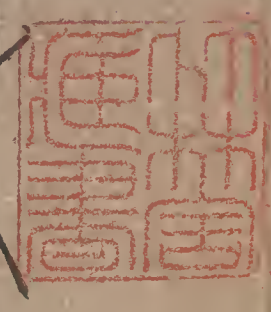
205



竜廼門大人撰

狂歌扶桑名所圖會
輯五

廣重畫宗華



此持葉名所と云々と新葉如年

何れも一葉と云ふはあはれと云ふ

あはれと云ふはあはれと云ふはあはれと云ふ

冊を五冊と云ふはあはれと云ふはあはれと云ふ

あはれと云ふはあはれと云ふはあはれと云ふ

あはれと云ふはあはれと云ふはあはれと云ふ

あはれと云ふはあはれと云ふはあはれと云ふ

[illegible]

人母の懐きよのありにせむと字
あるはしきと業のきと持業はくめを
あはれしうめとの母は名をいふ
をいふかかむちねとむはあはれ
あはれしきと業のきと持業はくめを

王保中三

龍吟

目錄

木幡里

耳無池

足
柄

衣
閑

上野

吉原



琴操

知悉

と 類と
と 消と

三

ふたつ

五

三

周書

松葉園

ちねあひ

五

卷之五

讀

袖手

一

小塩山



暗部山



木幡山

甲府業

上

上
おとまり
まゐるの
ふの
ふふふひ
ふてふ
ふふふふ
ふ

大頂
雅好

主
孫の

てゐるに
よるゝ
から
くさ
この
の
疎う救活



十五
五加皮

十日
ふらの系

あがき

授子の分

新の屋

三子

後

郭

翠山

五

起風

三
草
松
子

海子

夕
振

事

初名

大坂
石堂の庵



瓜生坂

三室

主
ふれん人の

風生坂

持書多し

煙草坂

金子

好文

山多
馬渡尾

主
風生坂

越さゆき

下流多

あといや

山

旅人



梅鹿

主
ゆめのとこ

やうく

三宅山

作の

いそり

雪の
梅鹿

主
食料

主
とく物の

飯のあそ

狐き

三宅の

とく

神系
舞板ハ

手枕野



三
つふきんち
おあはれ
さうぞう
ちり
なまめ
こまの
小登

田原
吉成
三
かひあり
ゆき
なれ
まの思ふ
こゝろ
おと

立田川

主
中々
ふらふら
せん
今七を
まうこの
川乃
あまきの
あし

主
龍人の
つゝ
せうとう
我田川
いんえき
神子
七三ち
紫の
七。

主
早規



主三
治誠尊師の
あこま
のくんと
耳のう
他の小恙は
のなせ
了れ

耳新の
ひき
く
云
云
妹
は
し
し



兵庫

五
 築新飯の
 うちぬ
 くらや
 人より
 其あつ
 松を
 まつあ
 りん
 五
 浦波の
 あけ
 くらや
 くらや
 むらや
 五
 稲人
 天孝
 くらや
 くらや
 くらや

伊豫湯
高砂

畫
 石の砂の
 うろも
 杖しぬ
 年あは
 むせぬ
 かのか
 あき世
 ありり
 野四
 拍塗社

玉ふき
 老の
 母より
 やあや
 ちうや
 高砂の
 とも
 和歌イ
 珠指




十五
何うあけー
まうさ
あーも
いよみ
帰の
帰女ハ
いさよふ
年以りて
表裏目
輝枝

三
いよみの
帰女はともや
幸いん
いかにとる
母は十六
名古む
便々着

三
いよみの
帰女の
るち子
ゆきこが
型ひ
とりつ
ふうまろ
はな
ちや
幸哉



[illegible]

禾枯杜

主
ききしひ
あふりい
おも
あふりの
杜の下も
月常の家

主
本枯の
たみ
下子
むねハ
乙子の
駒の色子
石をさう

楠虎

[illegible]

日光山



日光

日光の山

日光の山

日光の山

日光の山

日光の山

日光の山

日光の山

日光の山



日光の山

日光の山

日光の山

日光の山

日光の山

日光の山

日光の山

日光の山

日光の山

日光の山

日光の山

利根川

益龍

信天山

大
義

境十

多

夢

律
子

郭亮

知不足齋

先

三

五

卷九

昔

国

人子之

方叔子甫人

五廿年

焚及

主
從

あふあふ

多岐の

三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百。

如

有

抑止

辺の支も

子

ふのちの

卷之五

子
部

永懷

成四
秀明

鳥原

孫田
柏金社

十五
 八のーすあ
 つきあふかたろ
 とくせいのの
 けうあらん

孔祥雲

明宗

三
磚
八

[illegible]

あま

卷八

五

有以

移蓮

碇のさへ

世^三

あそびの者の

子

子不語

羅者
松集園

A vibrant, stylized illustration of a traditional Chinese village scene. In the foreground, a large, leafy tree stands on the right. To its left, a group of people are gathered near a wooden gate or fence. Further back, several traditional Chinese buildings with tiled roofs are visible. A small boat is docked on the right side. The scene is set in a lush, green environment with mountains in the background.

夜
關

扶桑

禹士

麻生

十五

卷之五

卷之五

七

五子

中の事

子

上
張

初め

卷之五

しきり

卷二

15

新

增修
燕桑亭

弘治

主
據之乳子
梅之
丸
散

新町の
カネ

一
四
の
き

栴の屋

必扶桑五篇

鹽

上野

土
 あれの候へ
 のちあはる
 飯のあは
 ううう
 うきも
 なるハ
 ふのこまふ
 有年

十
 けりとも
 けりぬる
 丁あつ
 あらき
 きのこ
 ぞ
 かしきん
 下下銀丁
 菩薩



日本橋

三
 奥の
 肉の林と
 目打楳
 彩の
 市子る
 五郎
 里者
 松竹本園

土
くさの
氣といはる
日かす
船き市子
人信そ
多う
吉
安成



口
口
川

履山

公と書

終のち

夫と云ふ

境

之

天香

松旭亭

十三

作舟の

卷之五

不

盛

店慶

123

カ
ト

第

十

卷之四

けり所
と

卷之六

女の家

あふ

紅平崎

錄
補
周

五十三

アリス子

氣

子方

力

不所の者

仙卷

千柳爭

淺草

主
はるかに
あつても
浅草子
石の枕に
かゝる
七くね
在り内
大道



主
萬年の
貫く
ぬく
く
あ
代の
浅草

雨

[illegible]

生
まよひて
伊予備候の
あはれ
厚衣
衣
あさ玉の
き



吉原

移と先の

夢子

古

ち

泰西

三
系八

肉の練子

時

卷之六

の
池
の

一

撰者 檜園梅明

五

此稿より意を以て文を去るは進んず人も病の如れ 漢書

はつたるゝまゝのふゆのりし雄子の面ややうにうへへ

雲々々々々々々々々々々々

いづれにてもすむの心も枯れぬものぞとて

秋吉川 子も母方より人々をいかにしんばる

巡扶桑五篇

蘇子山

2

元

人

武并全

二

費

千

全

全

老

南

廣 吉の 記
大坂 何故
食 種 全
おふ 万 年 橋 好
萩野 お中甲 年 横 年 橋
上ノ文 月 の
井田 高 琴 岩
巻石 志
氏家 富久成
市依 奥 依
おなほ 吳知業

秋^上はくちの机もさうきつめをばし

松花 梅 臺 日 走
 并木 赤 窠 好
 暖木 雲 好
 以吸 全 食 翁
 尾張 白 紀 翁
 下廿七 樓 園
 八戸 菰 雲
 琴 音
 全 生 國
 鐵 全
 思 玉 絳

[illegible][illegible]

扶桑五篇

[illegible][illegible]

二 扶桑立篇

二

[illegible]

午枕野

[illegible]

耳更池

[illegible]

中 升 花 好
 体 明 拊 盆 埔
 力 拊 拊 拊 拊
 以 弘 弘 弘 弘
 文 守 守 守 守
 万 友 友 友 友
 善 老 老 老 老
 仙 子 菊 固
 万 友 友 友 友
 万 友 友 友 友
 谷 友 友 友 友
 谷 友 友 友 友

兵庫

其のうたはあめのみ〜耳の池の底ひくす〜と〜れ
 り成その〜り〜仰〜や〜〜〜〜ありれ耳の池
 々されそめあやの〜城のあよ〜り〜耳の池
 耳の池の〜りのあめあつれ〜やれもの厚ふ
 みあの池とる〜言れ〜〜人も算ありり
 耳の池のあめの〜り〜〜城の〜を〜ら
 ちの池の城〜〜あめあめを〜り〜あ
 ね〜〜あ〜〜の答ふつり耳の池
 はあ〜あ〜りの〜〜〜や〜あ〜の池
 ち〜あ〜あ〜中〜〜〜多座の浦の〜の寸の強
 材の〜あ〜目〜あ〜あ〜座の著と〜あ
 この浦のあ〜あ〜〜あ〜船の帆あめの並あ座津
 帆〜〜のあ〜あ〜人あ〜あ〜武座の築やぬ
 井の〜〜〜〜の八月とまゆ〜築〜あ〜あ
 風扶桑五篇

田邊 玉 降
吉原 美智業
力久所 全
戸ナラ 昌 保
力下鎖 著 藪
信堪 正 蔭
仙多イ 晴 光
大坂 守 近
所石 廣 孝
冬コナ 慈榮亭

[illegible]

馬沙

萩 眞 年
粗色 高望垣
宇崎 子 能
田子持 肉 位
氏家 夏久旗
佃田 悟 森
天卜ウ 志 摺
仙太郎 勝 持
ナコヤ 松 年
早 崎
野田 拍冷社
其方子 春 吉
天卜ウ 調分半

福祿壽
 德 賀
 壽 九
 於 哺
 於 義
 全 於
 於 義
 家 久
 成
 後 全
 輝 全
 何 波
 不 秀
 上 山
 野 田
 拍 吟
 社
 米 村
 白 赤
 於 石

古枯杜

芝栢山

丙辰 庚 谷 如 考 爰 波 菱 栢 明 排 盤 亮 明 九 山 旋 摺 風 九
 甲 大 除 沼 栢 紅 吳 野 王
 廿

[illegible]

名古志 近 樹
 冲外 枋 口 屋
 意溪溪 芳 明
 油田 於 花
 二本 香 好
 名古志 五 蕭 亭
 冬二林 如 陳
 陈谷 六 雪
 版泥 文 花 亭
 氏京 寫 久 林
 廣 紀
 有 年
 臨 益
 保樹園

可良 廣 九
 尾張大山 景 仁
 力有 弘 广 呂
 可良 夕 顏 亭
 友 風
 急 稿
 多吉 子 弟 亭
 大山 景 仁
 長次 吳 智 業
 小腰 漢 士
 欽 琳 張
 田 龜 仁
 全

日光

[illegible]

武村子
加次町
雙峯
永濟南系
臨城
馬田
二本松
天市
舟形
多力ヤ
宇
合

春
金
春
春
米
光
禰分
淺河
衣
梅
宇
合

山
吉
高
好
今
村
樹
坐
尾
富
茂
安
義

法電

ときふ二荒のうのはの産物すむもの
 日光のとき産物すむもの
 中世のとき産物すむもの
 ときふ二荒のうのはの産物すむもの
 日光のとき産物すむもの
 中世のとき産物すむもの
 ときふ二荒のうのはの産物すむもの
 日光のとき産物すむもの
 中世のとき産物すむもの

松川 弘 廣 昌
 小串 榮 辰
 太田 彦 茂
 村田 教 判 亨
 氏家 友 久 成
 瑞聖 義 州 改 茂
 大坂 基 明
 岸和 四 郎
 石坂 眉 次
 掛川 弘 廣 昌
 山名 島 流 庵
 佐藤 椿 園
 糸 糸 亨
 千 校

仲九成丸
甲子
蘇生
桑打
毛力紅
方公金
琴旁
雷丸
乃草
冠藥
花盛
泥田
古灰
復也

詩

係文
 系
 三木
 所改
 碎
 寶
 魚
 船
 梅
 弓
 使
 甲
 天下
 卷
 布
 藍
 武
 香
 好
 堂
 安
 林
 業
 弘
 琴
 儀
 金

成田 晴雄 大坂 守 秀 旦 今 如

成田 秀明
結城 春雪
大坂 守風
石坂 谷風
小坂園 春好
板垣 會
布坑 俊
奥 飛
忍 飛
尾崎 集園
栗村 愛
今 伸
除 基
全 友風

成田 木 明
 常新 石 菱
 鐵盾中 秋 蔭
 在下 起 風
 鐵林 知 義
 掃 德 種
 你 艾 明
 明 石 觀 樹 風

成田
 有年
 全
 夕顏亭
 秀
 明
 菩
 菱
 石
 氣
 素彩
 心
 翠
 明
 鎮林
 知
 義
 程
 掃磽
 信
 程
 起
 風
 我府中
 秋
 蔭
 在盤龍廣碑改

[illegible]

全

[illegible]

全

ちひさくあかあかには古市ふあつてゐてさうさうに
 ちひさくあかあかには古市の踊りのすゝめひきまつゝ
 ちひさくあかあかには古市ふあつてゐてさうさうに
 ちひさくあかあかには古市の踊りのすゝめひきまつゝ
 ちひさくあかあかには古市ふあつてゐてさうさうに
 ちひさくあかあかには古市の踊りのすゝめひきまつゝ
 ちひさくあかあかには古市ふあつてゐてさうさうに
 ちひさくあかあかには古市の踊りのすゝめひきまつゝ

天板
重の屋

日本橋市の……
日本橋市……
大石の……
あつて……
……
……
……
……
……
……

二五

11

大坂 守 名
 天卜 相 寺 堂
 第四 柏 冷 社
 屋 鑲 金 割 陶
 私 記 堂 司
 以 存 綴 附 園
 全 全
 五 京 是 倉
 天 取 耕 好
 今 日 金 盛
 天 卜 文 寺 堂
 仙 子 菊 園

小令
下
即田
安
拍
卷
社
成
夢

廣 紀 漢 音 琴 瑟 上 辰 阿 波 多 石 志 寫

小 腹 全 漢 索 腰 肚 女 士

[illegible]

布依
白

[illegible]

廣紀

[illegible]

淺單

つすもふかもあるやう揚子江の的よりくみへる海草

松栢
年盛

うまのあぬあもはまの人のまゝるるをそくし
ち後ふ二まゝてとまりりう 雷外いのゆめをらのあ

守安

市人ハ利を乞ふ所ニ玉の如くありて其の如く

將如

[illegible]

2

[illegible]

差
好

浅草やひさくのうたそれぞあめをうかしてたふ

二
四
五

五つの中を三つと取り抜きの角を三つと足さる減ひ算

茂

鳳の神を祀りて子孫の天孫の御方とせむ

昌
保

三浦ぬ雲のなつ子 霞や夕陽の如くも 一のこゝろ

井

浅原よりてふはふとせしきくろのつるをひき市

志
琴

清の世界の思想を
 論ずる

秀

吸月とあふとそこの煙うあふらんを忘るゝようあふ廊

仙臺 子新亭 近 山 良 今 春 拍吟社 全 成 近 幸

乙未
 大坂
 丘磽
 丹田
 日光
 仙臺
 小呂
 今明
 梅
 育
 片
 雪
 煙
 水
 拍吟社
 蒸
 雅
 兔
 木枝
 好
 及
 社
 水
 國
 賀
 年
 草
 丸
 伴
 鹿

[illegible][illegible]

[illegible]

尚生今換曲

龍觀園梅堯撰

西遊記

多けし人形を各々くちやちとの坊々そわられぬ

くひのふれどもおちよは杭の夏ふれや

いふやうにせよ

淺茅うゑふくも草へあれとむさねの

あゝあゝ姉をあらうとひとおのふとて中あう

吉永省と名子とてその多うれとてくれけの

[illegible]

太刀とうちをまづもかきよるを

てう枝のききはれをゆめわの
位をうきき

扶桑名所圖會五篇終
天保十二夏初刻成

琴音

送明

面堂

蓬萊苑

素形西

梅
香

繪
圖

甲戌七月
求之
流火
町三

